

3市町合併



合併して足腰の強い市をつくりましょう！

3市町の財政状況を比較しました！

(第3回合併協議会資料より)



全国の市町村が同じものさしで比較する数字を見てみよう！

市がお金持ちか、貧乏かって何を見ればわかるの？



平成15年度決算（見込）

区分	岡谷市	諏訪市	下諏訪町	説明
財政力指数	0.664	0.814	0.646	財政力を表す指標です。高いほど自ら調達できる財源（税など）の割合が高く、財政力が強いこととなります。
公債費比率（%）	16.5	15.9	17.4	借入金の状況を判断するための指標です。高くなるほど行政サービスに使えるお金が少なくなってしまいます。
起債制限比率（%）	7.7	9.7	11.6	借入金を制限するための指標です。20%を超えると借入れが制限されます。
経常収支比率（%）	81.6	85.5	76.6	財政のゆとりを見るための指標です。低いほど財政にゆとりと柔軟性があると言えます。



市は目的によりいくつもの種類のお財布を持っているんだ！

そうだ！借金と貯金はどのくらいあるの？



区分	岡谷市	諏訪市	下諏訪町	合計	説明	
人口（16.4.1現在）	55,354	53,734	23,065	132,153		
地方債残高	現在高（百万円）	49,961	47,799	15,637	113,397	普通・特別・企業会計の総額です。
	1人当たり（千円）	902	890	678	858	
債務負担行為額	16年度以降支出予定額（百万円）	1,042	6,365	2,437	9,845	数年度にわたる建設工事や補助金の支払いを約束したものです。
	1人当たり（千円）	19	118	106	75	
土地開発公社の借入金	現在高（百万円）	4,201	6,436	4,847	15,484	土地開発公社は土地を持っていますが、借入金だけを記載してあります。
	1人当たり（千円）	76	120	210	117	
1人当たり負債総額（千円）	997	1,128	994	1,050	借金の総額です。	
基金現在高（16.3.31現在）	現在高（百万円）	6,956	3,663	1,840	12,459	貯金の総額です。
	1人当たり（千円）	126	68	80	94	



特別どこがいいとも言えないんだね

そうなんだ。良い所を伸ばし足りない所を補って、夢のもてる新しい市をつくるのが合併なんだ！



☆合併に関するお問い合わせは、岡谷市・諏訪市・下諏訪町合併協議会事務局（下諏訪体育館内）
 ☎26-4151 ☎26-4153 または 市役所広域合併推進室☎23-4811（内線1521）まで

いつものお風呂が温泉気分！

～やっぱり温泉はいいね！～

水の
かわ3版

岡谷 温泉スタンドの ご案内

温泉スタンドとは…

岡谷温泉を広く利用していただくために設けられている温泉の給湯所です。

タンクを車に積み、毎日訪れては家庭で温泉を楽しむ人の姿が多く見られます。

●温泉メタル販売料金

▷ 200ℓ = 100円

▷ 300ℓ = 150円

●営業時間

▷ 5～10月 午前8時～午後9時

▷ 11～4月 午前10時～午後9時

●温泉メタル販売場所

▷ 市水道部、湊・長地・川岸支所

▷ 信州諏訪農業協同組合 田中線センター

▷ 早川酒店

▷ ヘルシーパル岡谷

●泉 質

▷ 単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）

●温 度

▷ 46℃



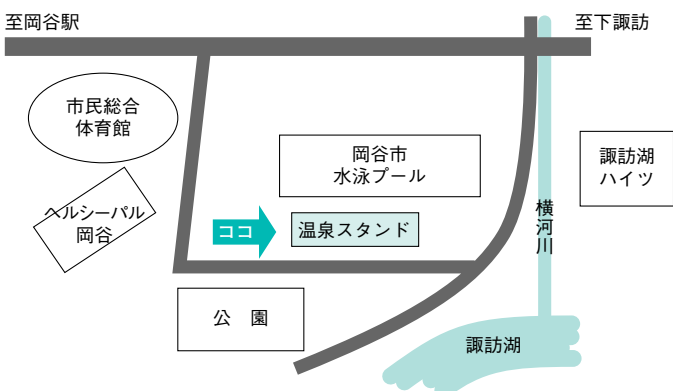
昨年、大型の屋根が取り付けられた温泉スタンド

岡谷温泉の源泉はどこ？

岡谷温泉の源泉は湖畔の赤砂地籍にあり、昭和61年野口翁が掘り当てたものを岡谷市が購入したものです。

岡谷温泉の効能は？

ナトリウムや炭酸水素、塩化物などを多く含む弱アルカリ単純泉です。特に皮膚の脂肪や分泌物を洗い流し、肌をつややかにする作用と、溶解している塩化物により体を芯から温めてくれます。湯温も適温で、水道水でうめる必要もありません。



温泉スタンド感謝祭

敬老の日（9月20日）を祝して、温泉スタンドの利用料金を期間限定で半額にて販売します。

期 間 9月17日（金）～9月23日（木）

対象者 65歳以上の高齢者を含む世帯

料 金 200ℓ 「100円を50円」

300ℓ 「150円を75円」

温泉メタル購入の際に、購入申込書に記入していただきます。

なお、1世帯10枚限りとさせていただきます。

◆お問い合わせは…

水道管理課 ☎ 23-4811
(内線1411)

オートバイのリサイクル

10月1日から始まります
乗らなくなったオートバイは、リサイクルしましょう

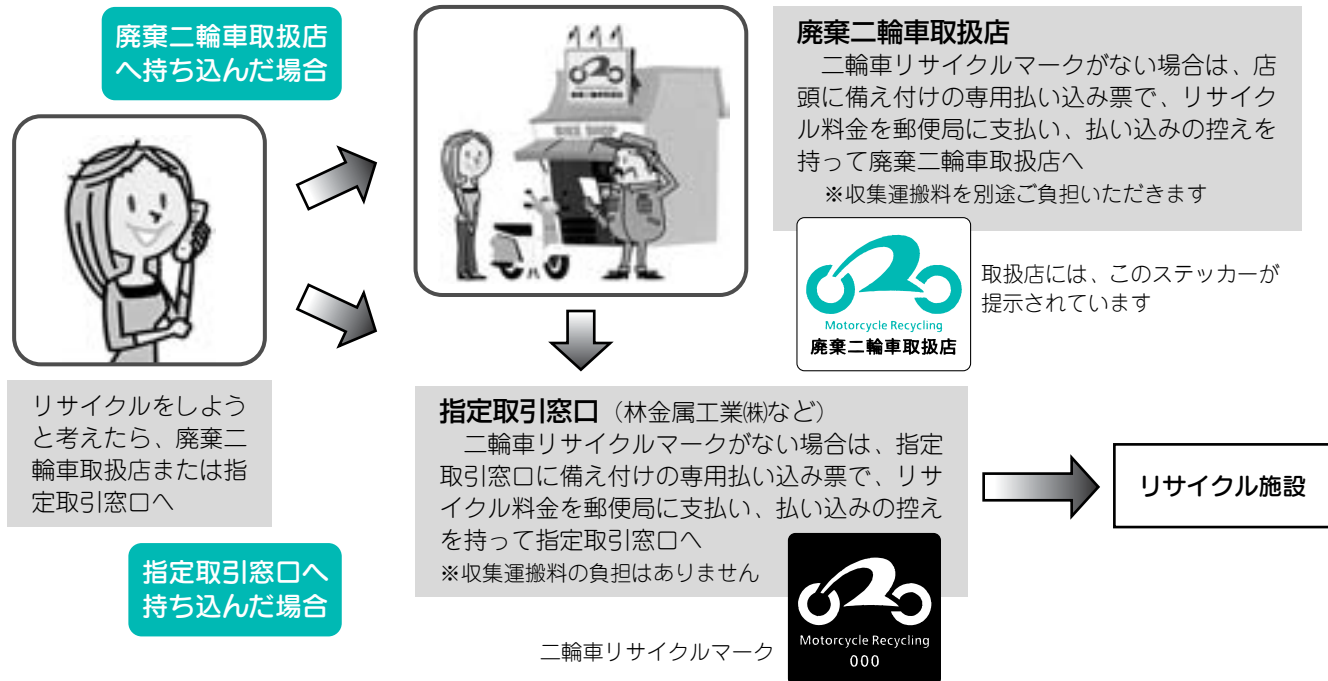
二輪車の適正な回収・リサイクルを目指し、国内メーカー4社と輸入事業者11社が共同で二輪車リサイクルの自主取組みを開始します。この仕組みは、10月1日より始まります。

国内メーカー4社と輸入事業者11社は、販売店・指定引取窓口において引き取られた二輪車のうち対象となるものについて、責任を持って処理・リサイクルを行っていきます。

処理・リサイクルや、その管理に必要な費用の一部は、ユーザーにご負担いただくこととなります。オートバイを廃棄するときは、「廃棄二輪車取扱店（全国約15,000店）」、または「指定引取窓口（全国190か所〔林金属工業株式会社（市内）など〕）」にご相談ください。



●リサイクル手続きの流れ



●リサイクル料金

- ・国内メーカー4社（本田技研工業(株)、ヤマハ発動機(株)、スズキ(株)、川崎重工業(株)）＝4,120円
- ・輸入事業者11社（(株)成川商店、(株)カジバ・ジャパンなど）＝4,200～6,800円

●引取対象のオートバイ

- ・スクーターやモータースポーツバイクなどのバイク。
- ※引取りできないものは、エンジン・前後輪などの部品が外されたものや、バギー車・サイドカーなど。

●問合せ

◆二輪車リサイクルコールセンター

☎ (03) 3598-8075 受付時間 午前9時30分～午後5時（土・日・祝日は除く）

◆環境清掃課

☎ 22-7040

～二輪車リサイクルシステムへのご理解・ご協力をお願いします～